

Technical drawing of a rectangular box with dimensions and labels:

- Top-left corner: $R\ 30$
- Top-right corner: $R\ 10$
- Bottom-left corner: $R\ 10$
- Bottom-right corner: $R\ 10$
- Bottom edge: $J\ 100$
- Right edge: $L\ 10$
- Bottom-right corner: $M\ 10$
- Bottom-right corner: $N\ 15$
- Bottom edge: $C\ 150$
- Bottom edge: $K\ 8$
- Bottom edge: $O\ 20$

[illegible]

○ 7時間30分

| | |
|----------|--------|
| 寸法(mm) | 公差(mm) |
| 15以下 | ±0.5 |
| 15を超えるもの | ±1.0 |

- 溶接部以外は加熱してはならない。
- 製品板端の切口面は糸面取りを施すこと。

○ 冷間圧延鋼板 SPCC 0.8×914×914mm 1枚

第47回 技能五輪全国大会『自動車板金職種』 持参工具一覧表

【 持 参 工 具 】

| 区分 | 品 名 | 寸 法 ・ 規 格 ・ 使 用 方 法 | 数 量 | 備 考 |
|---------------------------------|----------|---|-----|----------------------|
| 工 具 及 び 測 定 具 | スケール | スコヤも含む | 適宜 | |
| | 自在定規 | | 適宜 | |
| | ノギス | | 適宜 | |
| | ハイトゲージ | | 適宜 | |
| | トースカン | | 適宜 | |
| | ピンゲージ | | 適宜 | 測定用 |
| | けがき針 | | 適宜 | |
| | センターポンチ | | 適宜 | |
| | コンパス | | 適宜 | |
| | やすり | | 適宜 | 紙やすり・バリ取り用等も含まれる |
| | 金切りはさみ | | 4 | |
| | 切りたがね | | 1 | |
| | 影たがね | 最大刃長は、80mm以内とする。 | 4 | 材質は問わない |
| | 片手ハンマ | 各種基本形状のもの | 20 | プラスチック製も可 |
| | 板金ハンマ | | | |
| | 木ハンマ | | | |
| | * ならし金敷き | 頭部の最大寸法はΦ120mm以内とし、個々の総重量は6kgf以内で、凸形状とする。 | 8 | 支柱は使用しない |
| | * 心金 | 支柱を含めた最大長さは500mm以内とする。 横断面形状は均一とし、最大寸法は80mm以内とする。 端部の角は、R10mm以内とする。(全周同一Rとする。) 支柱は、端面に取付けるものとする。 | | |
| | 板金定盤 | 最大600X700mm以内 | 1 | |
| | 測定定盤 | 最大600X700mm以内 | 1 | |
| | * 木製当盤 | 最大長さ300mm以内、横断面の最大寸法は150mm以内とする。 凸形状とする。 当盤同士の組合せ、および木うすとの組合せを禁止する。 | 5 | プラスチック製も可 |
| | 木うす | 使用面の最大は500mm以内、使用面は1面とする。 彫込み内に、凹凸を設けないこととする。 | 1 | プラスチック製も可 |
| | 砂袋 | | 1 | |
| | ゴム板 | 板厚は5mm以内、形状は正方形または長方形とする。 競技中、工具への貼り付けは、可とする。 | 適宜 | |
| | のこのみ | 木工用 | 適宜 | |
| | ガス溶接装置 | 調整器(酸素用は、取付け口が袋ナット式のものの)、 ホース、吹管、火口等 | 一式 | 酸素・アセチレンは 会場に準備する |
| | マグネットベース | | 適宜 | |
| | プライヤ | やつとこ、バイスプライヤ、つかみはし 持参工具や作業台との固定は不可とする。 | 適宜 | |
| | 電気ドリル | バッテリー式も可、割れ止め用ドリル(Φ3mm)以下も含む | 一式 | |
| そ の 他 | 作業台 | 万力 | 一式 | |
| | ガス溶接作業台 | 溶接作業台、吹管立て、イス等 | 一式 | |
| | ガス溶接用具 | 手袋、保護メガネ、ライター、保護具等 | 一式 | |
| | ガス溶接棒 | | 適宜 | |
| | ウエス | | 適宜 | |
| | ビニールテープ | 養生用、ガムテープも可 | 適宜 | |
| | 筆記用具 | 時計、サインペン、電卓、消去液、防錆油、カッターナイフも含む | 適宜 | 電卓はプログラム 機能のないもの |

* 注意事項

- 1 数量は最大数であり、使用しない場合は持参しなくてもよい。
- 2 工具で総型などに該当するとみなされるものは持参を認めない。ただし競技中に
工具を修正することはかまわない。
- 3 万力に固定できる工具は*がついているものとする。(製品の固定は、不可とする)
- 4 床焦げ防止対策資材を用意する。
- 5 ガス溶接技能講習修了証を持参すること。